

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	カルバペネム系薬を使用している発熱性好中球減少症患者に対する抗菌薬適正使用支援チーム介入効果の評価		
1. 研究の目的と方法	広域抗菌薬の長期使用は薬剤耐性菌の出現や新たな感染のリスクを伴うため問題とされています。発熱性好中球減少症（以下 FN）治療において、広域抗菌薬の中止または狭域化の基準は確立されておらず、初期治療として開始された広域抗菌薬が漫然と投与され続けるケースも少なくありません。当院 Antimicrobial Stewardship Team（以下 AST）では、血液培養陽性者または広域抗菌薬 5 日以上投与例全例を対象とした介入などを通じ、年々、抗菌薬適正使用の啓蒙活動を強化しており、FN に対しても例外ではありません。本研究は AST 介入の抗菌薬適正使用への効果・影響について検証・評価をすることを目的としております。 方法としては、2023 年度から 2025 年度の 3 年間を調査期間とし、適切な抗菌薬の選択や感染源の精査、治療期間の確保や漫然とした抗菌薬投与の防止、用量・用量の検討などの介入内容の評価及び広域抗菌薬の使用期間・件数について調査を行う予定としています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	FN の患者さんで、2023 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に西部医療センター（旧 第三病院）にてカルバペネム系薬を用いた治療を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	・ 研究対象者の基本情報：生年月、性別、既往歴 ・ 疾患情報：疾患名、手術名、治療内容 ・ 血液検査結果：血液検査データ、尿検査所見 ・ 画像検査所見：CT、MRI、心エコー、X 線検査 ・ 培養検査結果：細菌の有無 ・ 培養の抗菌薬感受性結果：培養の菌種に対する抗菌薬感受性 ・ 使用抗菌薬 ・ 抗菌薬の治療期間 ・ 抗菌薬の用法・用量	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の	研究機関名	東京慈恵会医科大学 西部医療センター

	研究責任者 または研究 代表者	氏名	石田 理絵子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026 年 8 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 西部医療センター 薬剤部 研究責任者：石田 理絵子（いしだ りえこ） 電話番号：03-3480-1151（内線 3601） 対応時間：平日 8：30 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。